

海を観る・地球を知る 2020

～ 体験！海洋研究最前線 in 蒲郡～

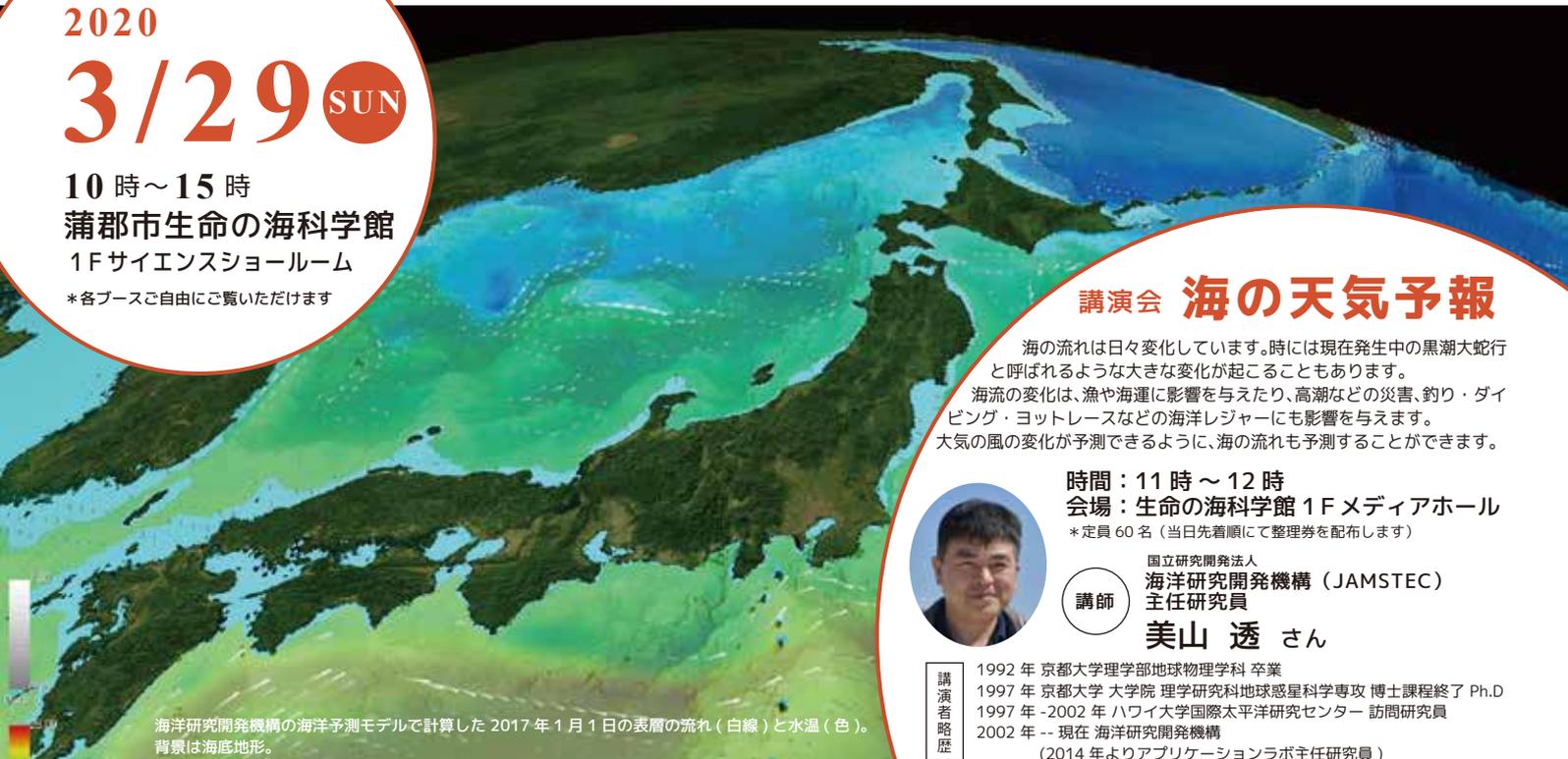
★新進気鋭の研究者たちに 海の色彩のヒミツ 黒潮大蛇行のこと 地球温暖化のこと 聞いてみよう！★

最先端の海洋研究を進める名古屋大学・宇宙地球環境研究所の研究者たちが、生命の海科学館にやってきます。研究所を飛び出して、海洋研究の最前線で行われている内容を、魅力たっぷりにご紹介します。

2020
3/29 SUN

10時～15時
蒲郡市生命の海科学館
1Fサイエンスショールーム

*各ブースご自由にご覧いただけます



海洋研究開発機構の海洋予測モデルで計算した2017年1月1日の表層の流れ（白線）と水温（色）。背景は海底地形。

講演会 海の天気予報

海の流れは日々変化しています。時には現在発生中の黒潮大蛇行と呼ばれるような大きな変化が起こることもあります。

海流の変化は、漁や海運に影響を与えたり、高潮などの災害、釣り・ダイビング・ヨットレースなどの海洋レジャーにも影響を与えます。大気の変化が予測できるように、海の流れも予測することができます。

時間：11時～12時
会場：生命の海科学館 1Fメディアホール
*定員60名（当日先着順にて整理券を配布します）



講師

国立研究開発法人
海洋研究開発機構（JAMSTEC）
主任研究員
美山 透 さん

講演者略歴

1992年 京都大学理学部地球物理学科 卒業
1997年 京都大学 大学院 理学研究科地球惑星科学専攻 博士課程終了 Ph.D
1997年 - 2002年 ハワイ大学国際太平洋研究センター 訪問研究員
2002年 -- 現在 海洋研究開発機構
(2014年よりアプリケーションラボ主任研究員)



ブース1

プランクトン顕微鏡観察

海水の中には、大きさも形も様々なプランクトンが存在します。プランクトンは海の生態系を支える大切な存在ですが、増えすぎると赤潮などの原因にもなります。

★ 少し大きめの動物プランクトンは倍率の低い実体顕微鏡、小さめの植物プランクトンは倍率の高い光学顕微鏡で覗いてみよう。



ブース2 海洋50のなぜ

海にも桜前線があるって本当？海水の塩分はどここの海でも同じ？なぜペットボトルはハワイ沖に流れ着く？むかし海から酸素がなくなったことがある？この他にもみなさんの疑問にわかりやすく丁寧に答えします。

★ 海洋のなぜが詰まったカプセルがもらえるよ。ガチャガチャをまわって君のなぜと友達のなぜを比べよう。



ブース3

回転水槽実験

三河地方に温暖な気候をもたらしている黒潮。黒潮は熊野灘・遠州灘沖を通り過ぎ東に進むにしたがって蛇行し、直径100km程度の渦を作り出します。

★ なぜ黒潮の流れがうねるのか？実験を通して、見て、ふれて、試してみよう。



蒲郡市制施行65周年記念

地球46億年、あなたにつながるストーリー



蒲郡市生命の海科学館

◀◀◀ がまごおりしいのちのうみかがくかん

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町17番17号

http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/

お問い合わせ TEL: 0533-66-1717

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 毎週火曜日 年末年始(12/29～1/3)
観覧料 高校生以上 500円(300円) 小・中学生 200円(100円)
*火曜日が祝日の場合は翌日休館 *学校長期休暇期間は開館 *蒲郡市在住の方は市民利用証提示で無料

